

# エコ〜つうしん

第9号

平成20年(2008)9月11日

編集発行：出雲市役所環境保全課 (TEL21-6535 FAX21-6597)

## 地域への恩返し 「佐田町クリーンアップ作戦」



ポイ捨てごみはなぜ減らないのかな?

佐田中学校では、1年生の総合的な学習の時間に、「お世話になっている地域に恩返しをしよう」と町内の公共施設や神社、道路などの清掃を行いました。雨上がりの暑い日でしたが、それぞれのグループごとに汗を流しながら一生懸命活動を行っていました。

作業後には、「暑い中での草取りは大変だったけど、だんだんときれいになっていくのがすごく嬉しかった」、「道路には空き缶やペットボトルのほかに食べ残しの食品が捨ててあり、なぜどこにでも簡単にごみを捨てるのだろうと思った」などの感想が聞かれました。

地域の方から、「ありがとう。頑張って」と声をかけてもらい、喜んでくれたことがとても嬉しく、今後、学校周辺のごみ拾いや家庭での草取りや清掃を手伝いたいという生徒もいたそうです。「掃除は、掃除をする人の心もきれいにするなあと思いました」という言葉がとても印象に残りました。

この活動を通じて、子どもたちが地域を大切に想う心を持ち続け、ずっと美しく住みよい町を守ってほしいと思いました。(取材/今岡特派員)

## 親子でふれあいながら学ぶ 「神西湖水辺の環境学習会」

子どもたちにとって長い夏休みに入った7月26日、湖陵地区と神西地区のコミュニティセンターの交流事業「神西湖水辺の環境学習会」が開催されました。学習会には、湖陵小学校、神西小学校の約60組の親子が参加しました。

はじめに、宍道湖自然館ゴビウスの飼育展示係の辻井さんが、神西湖の環境や生息する魚などについてわかりやすく解説されました。続いて行われたシジミによる水の浄化実験では、汚い水がきれいになる様子を目の当たりにした多くの子どもたちから歓声が聞かれました。

そのほか、船から神西湖を観察したり、湖に入ってシジミを採ったりした後、交流会の最後にはシジミ汁をいただき、とても楽しい思い出を作ることができました。

参加した子どもたちからは、「神西湖についていろいろなことを知ることができた」、「シジミが水をきれいになっていることにびっくりした」、「船から魚の跳ねる姿が見れて興奮した」などの感想が寄せられました。



いつまでもきれいな湖でありますように

この貴重な体験を通して、自然を大切にすることができると感じました。

「気持ちよく、育まれれば」と思いました。(取材/山崎特派員)

### 市からのお知らせ

## 「くらしの中の環境フェア2008」を開催します!

～あなたのくらしを見直してみませんか～

マイバッグを持ってみんなで参加しよう

- 地産地消コーナー  
野菜・果実などの地元特産品の販売
- 3R・環境保全推進コーナー
- リサイクル自転車販売
- 廃食油バスの試乗
- 「生ごみ処理機使い方」実演

- 各地区環境活動紹介コーナー
- ものづくり体験コーナー
- フリーマーケット (出店者募集中!)

### お知らせ

次のものを当日お持ちください。景品と交換いたします。

#### ★廃食用油★

ペットボトルに、揚げかすなどをよく取ってから入れる。

18日、19日、隣の「しまね花の郷」では、フラワー・イン・シマネが行われているよ!



とき 10月19日(日) 10時～15時

ところ フローらいずも (西新町「しまね花の郷」隣)

主催 くらしの中の環境フェア実行委員会 共催 出雲市、出雲市環境保全連合会、環境を考える女性の会

10月は「ポイ捨て禁止月間」です。住む人も訪れる人も気持ちのよい、きれいな出雲市になるよう一人一人が心がけましょう!

## グリーン 緑のカーテンを まち中に広げよう!



地球がよくなることをしよう!(中央保育所)

### 緑のカーテンってなあに?

朝顔やヘチマ、ゴーヤのようなツル性の植物をネットなどにはわせ、窓外を覆う自然のカーテンのことです。夏の強い日差しをさえぎり、葉っぱの間からはとても涼しい風がすく抜けてきます。また、野菜が収穫できたりと自然を楽しめることができるカーテンです。

環境新聞「エコ〜つうしん 第9号」をお届けします。猛暑が続いた今年の夏、地球にやさしい「緑のカーテン」作りに取り組まれた家庭や事業所などがありました。

その中から、中央保育所・幼稚園(今市町)と東コミュニティセンター(鹿園寺町)の活動を紹介します。みなさんも来年の夏は、「緑のカーテン」を作ってみませんか?



大きく育った見事なゴーヤ

中央保育所・幼稚園のぶどう組(5歳児)では、豊かな心と身近な自然や環境にかかわる力を育むため「みどりのくに」作りに取り組んでいます。子どもたちは、緑をいっぱいにした「地球が喜ぶ」、「みんなが気持ちいいし、うれしい」、「歌を作ろう」など、子どもたちなりに考え、「みどりのくに」作りを楽しんでいます。豆、ゴーヤ、ひょうたんなど、種から育て作られた楽しい緑のカーテンは、子どもたちの心を和やかにし、職員だけではなく、訪れた保護者からも「気持ちよく安らぐ」などと、とても好評です。

### 地球が喜ぶ「みどりのくに」作り

東コミュニティセンターでは、「健康と環境のまちづくり」をテーマに掲げ、緑のカーテンや健康体操の普及などの事業を進めています。ゴーヤで作られた緑のカーテンは、大きな葉が直射日光をさえぎるため、外よりも気温が4〜5度も低くなる場所もあり、電気代も昨年の7月と比べ約5千円も節約できたそうです。



緑に覆われ気持ちよく安らぐ東コミュニティセンター

### 環境特派員レポート

## エコな生活の知恵 ドクダミで作る「エコ化粧水」



畑や空地などに広く次々と芽を出すドクダミを利用して作る「エコ化粧水」を紹介します。

この「エコ化粧水」は、10年前から愛用しています。顔、体、足などどこでも使用できますし、夏は、あせもや虫刺されにもお勧めです。使用を続けるとさっぱりして、肌はつるつるになり、とても気持ちがいいですよ。

(取材/勝田特派員)

### 「エコ化粧水」のつくりかた

#### 【材料】

- ①ドクダミ(乾燥したもの) 40g
- ②ホワイトリカー(果実酒用35度) 1.8ℓ
- ③グリセリン 15〜20cc

#### 【つくりかた】

- ①白い花が咲いたドクダミを根ごと引き抜き、よく洗い、風通しのよい日陰で乾燥させる。
- ②①を広口瓶に切って入れ、ホワイトリカーを入れて蓋をし、2〜4週間おいておく。
- ③②をガーゼでこし、グリセリンを入れる。
- ④③をホワイトリカーの入っていた紙バックに戻して、できあがり。あとは、必要な分だけ化粧水の空き瓶に入れて使用してください。

※お肌に合わない時は使用をおやめください。